

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

8人/13人中

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	4	0	・メンバーによっては狭いと感じることがある。 ・庭があるので真夏以外は天気がよければ外で遊べる。
	②	職員の配置数は適切であるか	5	3	0	・メンバー(なかま)による。 ・1人のなかまに付きっきりにならずになかま全体を見た方がよい。
	③	子どもにとって危険な設備や備品などはないか	2	6	0	・基本、危険はないが、使った物をすぐ片づけないため、危ないと思うことがある。 ・建物自体の建替え計画を早く進めたほうがよい。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	4	0	・参加しても意見を言う人が限られている。
	⑤	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	3	1	・改善しやすいことは取り組んでいるのでは。
	⑥	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	2	4	2	・聞こえない子どものための勉強が少ない ・個人で探して参加している ・呼びかけても参加しない人もいる
	⑦	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	1	0	
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	1	0	・なかまの希望やアイデアも参考にしている
	⑨	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせるプログラムを作成しているか	8	0	0	・自由時間が多いが集団活動も企画している
	⑩	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	0	0	

適切な支援の提供	⑪	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	0	0	・共有しているがなかなか深い話にならない
	⑫	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	6	2	0	・他の職員の記録を確認する時間がつくれな い。振り返りでポイントの話はきくが。
	⑬	子どものことが分からないと感じたとき、自分の経験だけで判断せず他の職員に意見を聞くなどしているか	8	0	0	
	⑭	子どもの問題行動に出会うとき、表面的な解決にとらわれず、その内側にある子どもの本当の願いを探ろうとしているか	6	2	0	・とっさに止めたりダメと言ってしまうこともあるが後から職員間でどうしたらよかったが相談するようにしている。
	⑮	遊びや生活を通じて子どもの心の成長をはかっていくことを意識して子どもと関わっているか	8	0	0	
	⑯	集団の中でこそコミュニケーションの力が育っていくことを意識して子どもと関わっているか	7	1	0	・まずは大人がしっかり向き合う時間が必要だと感じることもある。
	⑰	子どもの現状を把握し、保護者の願いも聞いて個別支援計画を作成しているか	6	2	0	・保護者の本当の思いを引き出すのは難しいと感じることも多い。
関係	⑱	相談支援事業所の担当者と連絡をとっているか	4	2	2	・相談支援事業所から連絡をいただけたときはありがたいが、こちらから連絡することは少ない。 ・担当者のみ。
	⑲	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7	1	0	・送迎の待ち時間が主になるが相談にものってもらっている。 ・先生が様子を見に事業所にいらっしゃることもまれにある。 ・話せる先生が限られている。
	⑳	学校行事などに参加して学校での子どもの様子を把握しようとしているか	5	3	0	・家族以外が参加できる行事は減ってしまったが、学校公開や文化祭に参加している。 ・参加するとなかまが喜んでくれる。
	㉑	学校と支援会議などを行い、子どもについて意見交換を行っているか	2	3	3	・近年はほとんどない。
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	2	4	・できていない。保護者からの情報のみ。

機関や保護者との連携	②③	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	3	3	2	・先方から連絡があった時のみ。
	②④	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	2	1	・公園などで一緒に遊ぶことがある。 ・事業所や法人のイベントに来てくれた子どもと交流している。 ・計画的に交流はしていない。
	②⑤	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	1	7	0	・担当者のみ ・広い視野の意見がきけて勉強になる
	②⑥	障害のある子どもの放課後活動に関する連絡会に参加して、情報共有や交流・研修を行っているか	4	4	0	
	②⑦	同じ障害をもつ子どもたちが集まる事業所の連絡会に参加して、情報共有や交流・研修を行っているか	5	3	0	・もっと機会が増えてほしい
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	3	0	・必要なことは伝えるようにしている
保護者への説明責任等	②⑨	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	4	0	
	③⑩	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	4	0	・助言になっているかは分からないが話をきくようにしている。
	③⑪	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	5	3	0	・保護者が集える機会を増やしている。 ・ろう職員と交流できる機会を増やしたい。
	③⑫	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	0	0	
	③⑬	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	0	0	・皆さんお仕事などあるので、たまにもう少し早く予定を知りたかったと言われることがある。
	③⑭	個人情報に十分注意しているか	8	0	0	
	③⑮	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	0	0	
	③⑯	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	4	3	1	・お祭りは宣伝しているがあまり効果はない ・ほとんど交流はない ・遊びには来ないがかたつむりという場所と名前を知ってくれている人はいる。

非常時等の対応	③⑦	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	0	8	0	・保護者への周知ができていない
	③⑧	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	0	0	
	③⑨	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	2	0	
	④⑩	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	5	1	・対象者がいない
	④⑪	食物アレルギーのある子どもについて、保護者の指示にもとづいて対応しているか	7	1	0	・アレルギーのなかまはいないが食事で気をつけるなかまは数名いるので相談しながら対応している。
	④⑫	協力医療機関と協定を結び緊急時に相談できるようにしているか	4	4	0	・事案はほとんどないが必要な時は相談できる
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	3	1	・話し合いで終わらせてしまっていることも多い。